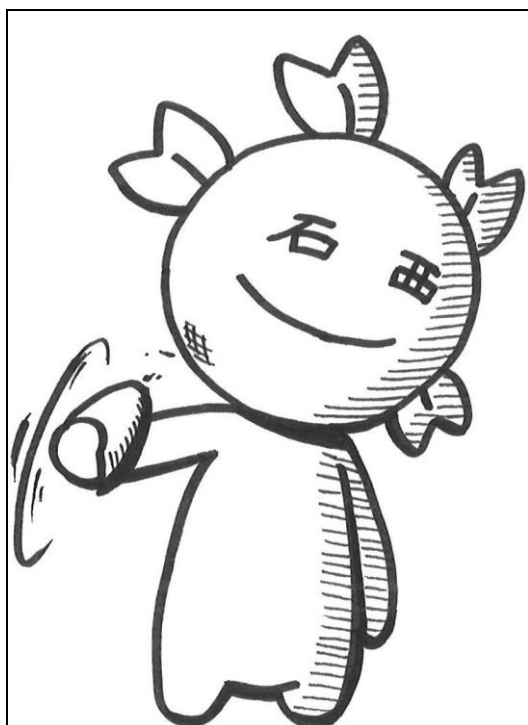


令和3年度

第2回 進路説明会

都立高校と私立高校の
入学選抜制度の詳細



練馬区立石神井西中学校

目次

P1	1 私立高校の入試について (1) 入試日程 (2) 推薦入試について (3) 一般入試について
P2	(4) 入試相談について (5) 私立高校を受験するにあたっての注意点 (6) 本年度の指定校推薦について
P3	2 高等専修学校、広域通信制校と学校 3 都立高校の入試について (1) 入試日程
P4	(2) 推薦に基づく入試 (3) 推薦に基づく入試の注意
P5	(4) 学力検査に基づく選抜（第一次・分割前期） (5) 志願変更について（取り下げ・再提出） (6) 学力検査に基づく選抜（分割後期・第二次） (7) 学力に基づく選抜に関する注意点
P6	4 今後の動き (1) スケジュール
P7	(2) 諸活動の記録について (3) ウェブ出願による受験写真データについて (4) 生徒及び保護者氏名等の確認・卒業証明書筆耕氏名の確認について 5 今年度の主な変更点とコロナ対応について 6 本校の推薦基準
P8	資料1 第2回進路希望調査（見本）
P9	資料2 第3回進路希望調査（見本）
P10	資料3 私立推薦願（昨年度のもの）
P11	資料4 諸活動の記録（昨年度のもの）

1 私立高校の入試について

(1) 入試日程

私立高校の入試は、推薦・一般ともに都立入試よりも早く実施される。都内の私立高校の多くで、推薦入試は1月22日以降、一般入試は2月10日以降に開始されるが、詳しい入試日程は各校が独自に設定しているため、個別の確認が必要となる。ちなみに、都内の私立一般入試は2月10日に試験日が集中し、2月13日までに大半が終了している。

(2) 推薦入試について (第1回進路説明会資料 P5 に掲載)

推薦入試は、『原則として在籍している中学校長の推薦があり、合格したら必ず入学することを条件に、面接・作文・適性検査などで選抜試験を受けることができる制度』である。

- 多くの私立高校では10月から11月頃までに、入試要項や学校説明会において推薦基準を公表している。
- 基準に足りない場合でも、英検3級の資格を有していれば1点を加点するなど、資格や生徒会活動、部活動での活躍などを加点評価する学校もある。
- 推薦基準に達していても、推薦基準を「出願基準」として扱い、当日の適性検査の結果や調査書点を総合的に判断して不合格とする学校もある。
- 推薦入試を、一般推薦入試、スポーツ推薦入試などのように、区分けして実施している学校もある。
- 推薦入試制度を利用して合格した場合は、合格後の入学の辞退、他校の受験は一切できない。
- 推薦入試が不合格だった場合、一般入試を受けることができる。

(3) 一般入試について (第1回進路説明会資料 P5 に掲載)

【 優遇制度を利用する 】

- 第一志望優遇制度：合格した場合必ず入学することを条件に優遇される。優遇のための基準の有無は学校による。
- 併願優遇制度：他校を第一希望とするが、そこが不合格だった場合に入学することを条件に優遇される。公立併願の高校がほとんどであるが、私立併願を可としている学校もある。

【 優遇制度を利用しない (フリー受験) 】

- 出願するための基準は特にない場合が多い。
- 受験日が重ならなければ、何校でも受験することができる。
- 都立高校が第一希望の場合に延納届を提出することで都立高校の合格発表日まで入学手続きの期日を延長してくれる学校もある。

(4) 入試相談について

推薦入試・一般入試で優遇を受けて受験する場合、基本的に入試相談が必要となる。

- **入試相談とは：**中学校と高等学校との間で行われる事前相談会。中学校の教員が生徒が受験するそれぞれの私立高校に出向いたり、指定された成績関係の資料を提出したりすることにより、受験する生徒の合格の可能性について事前に相談すること。ただし、合格の確約や内定を出すことはない。多くの場合 12 月 15 日が入試相談日となっている。
- **入試相談を希望する場合：**第2回進路希望調査に推薦入試・一般入試で優遇を受けたい希望（入試相談の希望）を明記し、11月の三者面談で担任に伝える。推薦の場合は、校内の上級学校推薦委員会における審査を経て、12月の面談で担任から審査結果を伝える。
- **入試相談後の注意点：**入試相談を経て書類が受理された場合、必ず出願して受験することになる。入試相談後のコース変更や受験取り止めなどはできない。都立高校が第一希望で併願優遇を受けた場合、都立高校不合格の際には併願優遇先の高等学校に入学手続きをする。都立高校二次募集には応募できない。

(5) 私立高校を受験するにあたっての注意点

- 私立高校は都立高校と違い、入試日程、基準や選抜方法など各学校が独自に設定しているため、学校説明会や募集要項での確認が必要。
- 募集要項には、受験に必要な入学願書や各種書類（中学校教員が作成するものの原本など）が同封されている。受験者が自分でその学校に出向き、入手（購入）する。受験校が決定したらすぐに手配しておくが良い。
- 募集要項を入手したらまずは必要書類の確認をし、細部にわたってよく読み、手続き全般について受験者も保護者も理解しておく。（延納願いに中学校の印が必要な場合がある）
- 最近はウェブ出願の学校が多い。家庭でのインターネット環境やプリントアウトが必要な学校が増えてきている。

(6) 本年度の指定校推薦について

本年度、中央大学杉並高等学校より1名の生徒の指定校推薦依頼あり。高校が示す推薦基準は次の通り。

次の(1)～(5)のすべてに該当するもの。

- (1) 2022年3月中学校卒業見込みの者
- (2) 本校を第一志望とする者
- (3) 在学中学校長の推薦を有する者
- (4) 内申において評定1および2を有さない者
- (5) 学業に秀でており、かつ生徒会・クラブ等の活動において優れた成果を上げた者

推薦基準に達しており、指定校推薦入試による受験を希望する場合は、**第2回・第3回進路希望調査にその旨を明記する。第3回進路希望調査の提出締切日をもって、校内の募集終了とする。**指定校推薦希望者については、校内の上級学校推薦委員会において審査し、結果については12月の三者面談で担任から伝える。12月の三者面談で、指定校推薦による受験が決定した後の変更や合格後の入学辞退は認められない。

2 高等専修学校、広域通信制高等学校の入試について

○ 高等専修学校

高等専修学校（専修学校高等課程）は、中学校卒業者を対象に実務面に重点をおいた教育を行っている。3年間の課程を終えると、高校卒業資格は得られないが大学受験資格は得ることができる。最近では修了年限が3年以上の専修学校の中に、通信制高等学校と技術提携することで、卒業と同時に高等学校卒業資格が得られる学校も増えている。その場合、専修学校の授業料とは別に通信制高等学校の授業料も必要となる。

【推薦入試】10月初旬より出願。本人のその学校に対する意欲が問われ、その職業に対する意欲・情熱、体験授業への参加の有無などが評価される。入学金等の延納はなく、合格したら必ず進学することが条件となる。

【一般入試】

10月初旬より出願。入学試験は、面接・作文の他に学力試験を実施する学校もある。併願優遇の制度がある学校もあるが、延納の手続きが可能かどうかは説明会などで確認する必要がある。

○ 広域通信制高等学校

広域通信制高等学校は通信制課程の内容に準じて運営をしている高等学校。進学を希望する場合は、学校見学などによってその学校の特徴や、教育のシステムをよく理解すること。通学日数が選択できる学校、スクーリングのために登校する必要がある学校など様々な教育活動が展開されている。立地なども含め説明会などで確認が必要。併願優遇制度また就学支援金が適応になる学校もある。

3 都立高校の入試について

都立高校についての説明は、先日配布した『令和4年度(2022年度)東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ』と『東京都立高等学校募集案内』(11月配布予定)をご覧ください。今回の進路説明会資料は『令和4年度(2022年度)東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ』からの抜粋になります。

(1) 入試日程(全日制)

	出願	検査日(実技・学力)	合格発表
推薦	1月12日(水)~17日(月) 願書等は各家庭から郵送 調査書は 中学校から郵送	1月26日(水) 1月27日(木)	2月2日(水)
第一次募集・ 分割前期募集	1月31日(月)~ 2月4日(金) ※ 中学校から郵送 取り下げ 2月10日(木) 再提出 2月14日(月)	2月21日(月)	3月1日(火)
分割後期募集・ 第二次募集	3月4日(金) 取り下げ 3月7日(月) 再提出 3月8日(火)	3月9日(水)	3月15日(火)

(2) 推薦に基づく入試 (第1回進路説明会資料 P4 に掲載)

【推薦入試の目的】

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力などの課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

【応募資格】

- 令和3年12月31日現在、都内在住で都内の中学校に在学していて、入学後も引き続き都内に在住し、令和4年3月に都内の中学校を卒業する見込みの生徒。
- **私立・国立を含め、志願する都立高校を第一志望とする生徒。**

【一般推薦】

- 全日制ではほとんどの学校で行われている。
- 検査
 - ・ 志願者全員に個人面接を実施。(※今年度、集団討論は実施しない)
 - ・ 小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査は、それらの中から各学校が1つ以上を選んで実施。
 - ・ 調査書点のほか、個人面接、小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査の各点数を総合した成績で選考する。

【文化・スポーツ等特別推薦】

- 実施する学校としない学校がある。募集人員は、一般推薦の募集人員の内に含まれる。
- 検査
 - ・ 志願者全員に個人面接または集団面接及び実技検査を実施する。作文など、その他の検査を実施する場合は、各学校で内容を定める。
 - ・ 調査書点のほか、個人面接または集団面接、実技検査及び各学校が定めたその他の検査の各点数を総合した成績で選考する。
- 提出書類：推薦書(一般、文化・スポーツ、理数)… 中学校教員が作成、高校へ郵送。
入学願書… 本人作成、保護者の署名、中学校長の公印が必要。本人が郵送。
入学者査料… 全日制 2,200 円(事前に払込み、入学願書の裏面に領収書を貼付)
調査書… 中学校で作成し、高校へ郵送。
自己PRカード… 面接の資料となる。
立川(理数)は他に要書類

(3) 推薦に基づく入試の注意点

- 生徒、保護者ともに、志望する高等学校の教育方針や校風などを理解し、**その高校を第一希望**とし、求められる資格・基準・条件を満たしていることが前提となる。
- 志願者は各学校が定める「本校の期待する生徒の姿」という冊子をよく読んで意思を明確にし、自己PRカードを作成する。
- **中学校長による推薦**となるため、人物、生活態度、学力及び学習への取り組みについて、その生徒が推薦に値すると判断できる状態であることを前提とする。
- 推薦入試を希望する場合は、校内の上級学校推薦委員会で審査する。
- 推薦入試決定後、生活の乱れや学習意欲の低下などがないよう、生活面・学習面などにおいてさらに自覚をもって過ごすことが必要となる。

- 出願後、志望校の変更は一切できない。また、受検を辞退したり、合格後に入学辞退したりすることは認められない。
- 推薦入試で不合格だった場合、学力検査による入試で再度受けることができる。

(4) 学力検査に基づく選抜（第一次・分割前期募集）（全日制・定時制）

- あらかじめ募集人員を分割し、第一次募集（分割前期）と第二次募集（分割後期）の2回に分けて募集を行う学校がある。また、第一次募集の結果、入学手続人員が募集人員に達しない学校が第二次募集を行う。
 - 保護者と同居していて、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実なことが必要。
 - 出願方法：1校1コースまたは1科（1分野）に限り出願する。志望する同一の高校内にある同一の学科内に2科（2分野）以上ある場合は他の科（分野）に志望順位を付けて出願できる。
 - 提出書類：入学願書一人作成、保護者の署名、中学校長の公印
入学者査料—全日制 2,200 円、定時制 950 円
（事前に払込み、入学願書の裏面に領収書を貼付）
調査書—中学校で作成。出願日までに担任から本人に渡す。
自己PRカード—面接実施校の出願者のみ提出
- ※ 出願に関わる書類は、中学校で配布する。昼夜間定時制、チャレンジスクールなど高校独自の願書を提出する場合は、各自で受検する学校に取りに行く。

(5) 志願変更について（取り下げ・再提出）

- 入学願書提出後、一回に限り志願校を変更することができる。ただし、志願変更先の学校には制限（全日制から定時制への志願変更はできないなど）があるため、注意が必要。
- 出願締切後に、倍率等が東京都教育委員会のHPや新聞に掲載される。志願変更を考える場合は、あらかじめその可能性を担当に伝えておく。
- 本年度の取り下げ日は2月10日なので、当日私立受験がある生徒は保護者に依頼する。この場合は保護者と受検者の関係がわかる書類（住民票等）が必要となる。

(6) 学力検査に基づく選抜（分割後期・第二次募集）（全日制・定時制）

- 第一次募集の結果、入学手続者数が募集人員に達しない都立高校が、その相当人員について第二次募集を行う。
- 第一次募集、分割前期募集の合格者は応募できない。
- 第一次募集と同様に志願変更ができる。
- 検査教科は全日制3教科、定時制3教科＋面接だが、学校によって作文や実技がある。

(7) 学力検査に基づく選抜に関する注意点

- 第一次募集では、各校5教科を共通問題で実施する学校がほとんどだが、3教科を自校作成やグループ内作成を行う学校がある。共通問題よりも難易度が高い。
- 共通問題はマークシート方式で行う。マークミスには注意。
- 一部の学校では、特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を行う。
- インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査が実施されるのは、第一次募集のみ。第一次募集を受けられなかった生徒に対して、分割後期募集・第二次募集と同日程で実施。
- チャレンジスクールやエンカレッジスクールなど学力検査を実施しない多様なタイプの学校に関しては『令和4年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ』を参照。

4 今後の動き

(1) スケジュール

	学校・生徒の動き	保護者の方へのお願い
10/22 (金)	受験写真撮影	
10月～11月	諸活動の記録記入	
10/27 (水) ～ 11/2 (火)	三者面談	私立の推薦、第一志望優遇、併願優遇を希望する場合は、2学期の成績で基準を満たしていない場合の候補を複数考えておいてください。
11/15～17 (月～水)	2学期期末考査	
11月下旬	仮内申 家庭通知 都立自己PRカード作成(生徒)	第3回進路希望調査を記入してください。仮内申の通知は希望調査提出後になります。
11/19 (金) 6予定	第3回進路希望調査配布(※切 11/25 (水) 予定)	
12/2 (木) ～ 12/9 (木)	三者面談	進路希望に関する最終面談です。特に、私立の入試相談が必要な場合はここで決定させてください。
		全員、面談後に↓ 調査書作成依頼書 提出 該当者は、面談後2日以内に↓ 私立推薦願&理由書 提出 私立第一志望優遇願&理由書 提出 私立併願優遇願 提出 該当者は、2学期中に↓ 都立推薦願 提出
12/16 (水) 以降	入試相談結果を生徒に伝える	出願準備
1月	私立推薦・国立一般 出願 私立推薦 入試 都立推薦 出願 私立推薦 発表、手続き 私立一般 出願 都立推薦 入試	受験料の払込 願書の作成 合格者、入学手続き
2月	都立推薦 発表、手続き 都立一次・分割前期 出願 私立一般・国立一般 入試、発表、手続き 都立一次・分割前期 入試 学年末考査 24日(水)	合格者、入学手続き
3月	都立一次・分割前期 発表、手続き 都立分割後期・二次 出願 都立分割後期・二次 入試 都立分割後期・二次 発表、手続き	合格者、入学手続き

(2) 諸活動の記録について (資料4)

調査書を作成する際の資料となるものです。3年生は11月頃から面接練習などを行いますが、それと同時に「諸活動の記録」や「自己PRカード」を作成していきます。諸活動の記録の中で、「3年間の中学校生活の諸活動の中でアピールしたいこと」を5つ書く欄があります。その記載内容は保護者の方にも確認していただくこととなりますが、どんなことを記入するかはあらかじめ話し合っておいてください。

(3) ウェブ出願による受験写真データについて

10月22日(金)に学校で受験写真の撮影(プロカラー)を行います。最近では私立高校でウェブ出願が増えておりますが、その際に受験写真のデータが必要になります。800円でCDデータオプションを付けることができますので、各家庭でご検討ください。

5 今年度の都立入試の主な変更点とコロナ対応について

【変更点】 男女別募集校のすべての学校で、男女枠緩和制度を定員の1割で実施。
(9割を男女別の点数で、残りの1割の定員分を男女関係なく上位から成績順
大泉、両国の募集停止
小台橋高校(足立地区チャレンジスクール)開校。
立川に創造理数科新設。

【コロナ対応】 出願は郵送で 願書は受検者が、調査書は学校から指定郵便局に発送。
昨年度に引き続き集団討論の中止。文化スポーツ推薦の実績は提出せず。
コロナを含む学校感染症に罹患、又は感染を疑われる者は受検不可。
当日の37.5度以上の発熱者は理由を問わず受検不可。なお希望者は申請すれば追検査可。(追検査は二次募集の日に実施)
換気を行うため科目間の休憩時間が20分→30分に延長。

6 本校の推薦基準

本校の推薦基準

- 社会生活の基本となるルール、すなわち学校のルールを守っている生徒
- 中学生としてふさわしい基本的な生活習慣(時間を守る、遅刻をしない、規則正しい生活など)が確立している生徒
- 挨拶がしっかりとでき、服装・身だしなみが整い、きちんとした礼儀や言葉遣いが身に付いている生徒
- 日々の授業に主体的かつ前向きに取り組み、目的意識をもって、継続して努力している生徒
- 生徒会活動、学級活動、部活動、芸術やスポーツなどの活動で、顕著な活動を行っている生徒
- 学校行事や地域活動に積極的に参加し、意欲的に取り組んでいる生徒
- 集団生活がしっかりとでき、思いやりの心を持ち、自他を大切にして周囲と協調していける生徒
- 人の話をしっかりと受け止め、成長していける生徒

令和3年10月6日

第3学年保護者様

札幌区立石神井田中学校 第3学年

第2回 進路希望調査

卒業後の進路を具体的に絞り込んでいく時期になりました。進路希望先の専攻や制約条件、休校学習などを整理しながらご家庭で十分に話し合い、その結果を記入してください。なお、提出への提出締切日は、10月13日（水）になります。

「中央大学(前高等学校)への希望校地蔵」を希望する場合

第3回 進路希望調査の提出締切日をもって、校内の関係終了となります。希望する場合は、その旨をこの調査、または第3回の進路希望調査に明記してください。※入試形態の欄に「推薦（指定校）」と記入ください

■ 進路希望先（該当に○印を付ける）

- ① 上級学校への進学 ② 就職 ③ 働きながら学ぶ ④ その他

① または ③ に○印が付いた場合、希望する上級学校名、学科・コースなどを記入してください。

希望順位	学校設置区分 学校名	課程	学科 (コースまたは科名)	入試形態*	説明会
(例)	都立 石西高校	全日制	商業科 (ビジネスコミュニケーション)	推薦(一般)・一般 第一志望校選・併願校選	参加済 ・参加予定 (月 日)
1	立 校			推薦()・一般 第一志望校選・併願校選	・参加済 ・参加予定 (月 日)
2	立 校			推薦()・一般 第一志望校選・併願校選	・参加済 ・参加予定 (月 日)
3	立 校			推薦()・一般 第一志望校選・併願校選	・参加済 ・参加予定 (月 日)
4	立 校			推薦()・一般 第一志望校選・併願校選	・参加済 ・参加予定 (月 日)
5	立 校			推薦()・一般 第一志望校選・併願校選	・参加済 ・参加予定 (月 日)
6	立 校			推薦()・一般 第一志望校選・併願校選	・参加済 ・参加予定 (月 日)

※ 記入上の注意 ※

- ・ 学校名は、正式な名称で記入してください。コース等は決定している場合は記入ください。
- ・ 希望順位が決まらない場合、何順位で何校が考えている場合は、空白にそのことがわかるように記入してください。
- ・ 推薦や私立校から優遇を受けて受験することを希望する場合は、入試形態の欄に明記してください。
- ・ 入試形態の記入方法について、以下を参考に、括弧内で横線しているものを記入してください。

都立校の場合— 推薦「一般推薦」・推薦「特別推薦」・一般（二学力検査に基づく選抜）
私立校・その他の学校の場合— 推薦・併願校選・第一志望校選・一般（二フリー受験）

② または ④ に○印が付いた場合、希望する職種などを記入してください。

職種	ハローワークによる転職を希望する・縁故による就職 (該当するものに○印を付ける)
----	---

3年 ____ 組 ____ 番 氏 名 _____ 保護者署名 _____

令和2年11月20日
 練馬区立石神井西中学校
 第3学年

第3回 進路希望調査

最終的な進路の決定に向けて、希望進路を確定する時期になりました。前回の三者面談やご家庭での話し合いを受けて、希望する進路先を記入してください。なお、担任への提出締切日は、11月26日（木）です。

■ 希望する上級学校名、学科・コースなどを該当する欄に正確に記入してください。

区分	希望 順位	入試形態	学校名 (正・中名併記記入)	学 科 (コース併記可)	入試日 (曜日)
都立		推薦			1月26日（火） 27日（水）
		一般			
	1	一般入試 (国・文・理・算・ 英語・音楽・ 体育・保健)			2月21日（日） (面接実施時は各校が 定める日曜)
2					
3					
私立	1	併 願			月 日（ ）
	2				月 日（ ）
	1	併 願 (HIGHER SCHOOL)			月 日（ ）
	2				月 日（ ）
	3				月 日（ ）
	1	一般入試 (フリー)			月 日（ ）
	2				月 日（ ）
	3				月 日（ ）
	4				
	国公立 ・ その他	1			
2					月 日（ ）

※ 「中央大学附属高等学校」への指定校推薦を希望する場合：この進路希望調査の提出締切日をもって、校内の募集終了となります。希望する場合は、入試形態の欄に「指定校」と記入してください。

※ 就職の場合は、「国公立・その他」の欄に、職種などを記入してください。

※ 「都立」「私立」の欄が不足する場合は、「国公立・その他」の欄を使用してください。

3年 _____ 組 _____ 番 生徒氏名 _____ 保護者氏名 _____ 印

資料3（私立推薦願）

※ 私立第一志望優遇願、私立併願優遇願、都立推薦願なども同様の形式です。

私立高等学校 推薦 願い

練馬区立石神井西中学校長 荒井 友香 様 令和3年 月 日

この度の高等学校受験にあたり、3年 組 番 氏名 _____ は、

私立 _____ 高等学校 _____ 科 _____ コース・クラス・類型
 受験日 _____ 月 _____ 日

への進学を第一志望校として強く希望するとともに、推薦受験生徒として推薦をいただきます
 ようお願いします。なお、推薦受験生徒として受理された際には、これまで同様、学校生活や
 学習活動に積極的に取り組み、他の生徒の模範となり、合格後は、必ず上記の高校に進学いた
 します。

3年 組 番 生徒氏名 _____

保護者署名 _____

注意事項

- 上記の高等学校を必ず訪問し、見学、個別相談等を行うなどして、学校の教育活動や校風等について、十分に理解した上で検討してください。
- 高校が定める推薦基準を満たしている場合でも、書類選考の結果や、希望者が定員を大幅に越えたりした場合、推薦受験が認められないこともあります。
- 入試相談で書類が受理されても、選考の際の面接その他で、人物や生活面に問題があると判断された場合は、不合格になることがあります。学習・生活両面でさらに一層の努力をするよう、ご家庭でもご指導をお願いします。
- 合格した場合には、他校に出願済みであっても、一切受験することはできません。
- この用紙は、面談終了後二日以内に、担任に提出してください。（提出厳守）
- この用紙の提出を受けて入試相談や推薦書類等を作成しますので、この用紙提出後の志願変更はできません。十分にご検討の上、ご提出ください。
- 本人が志望理由を記入する欄があります。ご家庭でも確認ください。
- 下欄に各科の成績と高校の推薦基準値、及び加点に用いる資格等とそのポイント数をご記入ください。

〔成績記入欄〕

	3科	5科	9科
高校の基準			
自分の成績			

加点項目（加点する場合のみ記入）

3年 組 番 氏名

練馬区立石神井西中学校

※ 書類作成資料として使いますから、正式名称で記入してください。

I. 学籍の記録

フリガナ		転入学	平成 年 月 (年生)
氏名			中学校から
住所	〒		
生年月日	平成 年(西暦 年) 月 日	自宅電話番号	

II. 個人観

趣味		特技	
長所		短所	

III. 特別活動

学年	1年	2年	3年
各種委員会	前期 後期	前期 後期	前期 後期
学級の係 班の係 行事の係			
部活動			

IV. 行事の活動

実行委員会等	学年	活動状況
	年	
	年	
	年	
	年	

V. 総合的な学習(OT)における3学年の学習活動

OTで学習したこと その学習活動で PRしたいこと	
---------------------------------	--

VI. 個人の活動状況 【自己PRカード(生徒が書く)、調査書「諸活動の記録」(先生が書く)を意識して】

1. 第1志望校を想定して	
入学したい理由と 入学してからしたい事	

2. 3年間の中学校生活の中で

諸活動 PRしたいこと (学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動等)	
学習の状況 PRしたいこと (教科で努力したこと等)	
資格・検定等の取得	
校外における活動 (ボランティア等)	
自己アピール (中学校での3年間を振り返り頑張ったこと等)	

3. 【重要】3年間の中学校生活の中で諸活動でアピールしたいこと

諸活動記入優先(例)	〇〇委員として、△△の作成を担当(第◇学年)
諸活動記入優先1位	
諸活動記入優先2位	
諸活動記入優先3位	
諸活動記入優先4位	
諸活動記入優先5位	

調査書の「諸活動の記録」を記載する上で、参考になりますので、保護者とは相談の上、記入してください。
実際に調査書に記載する文言は、修正を入れる可能性があります。
上記の内容を確認しました。 令和元年 月 日 保護者氏名 印